



手づくり感のある家だから味わえる
自分で手を加えながら住む喜び

Come Home Story

ご入居後の
お宅訪問
No.005
カムホームストーリー
高知市・Kさま邸
(旭グリーンヒルズ)
竣工:2009年6月
設計担当:岡本 理絵



自分が考えたものを形に

長年、マイホームが欲しいと考えていたKさまご夫妻。お子さんの誕生をきっかけに、本格的に家づくりを考え始めました。k+で見かけた見学会に出かけ、「大好きな雰囲気」と奥さまの気持ちが一気に加速。その後、他の工務店にも足を運びましたが、スタッフから具体的な話を聞くうちに「ここなら自分の意見を言えそうだ」と感じました。見学会で見た家に、職人の手仕事を実感したのも決め手です。「自分が考えたものを、職人さんが形にしてくれるというスタイルがとても気に入りました」と奥さま。大学時代に木工を専攻していた奥さまは、ものづくりが大好き。念願叶って手に入れたアトリエでは、いろいろな作品が生まれ、奥さま手作りの棚や小物がKさま邸に味わいを添えています。

オリジナルの建具がお気に入り

家づくりは、「仕様を考えるのが楽しくてたまらなかった」という奥さま。「こんなふうになりたいと思うところがあれば絵を描いてきて」と言われ、雑誌を見ながらあれこれ考えました。キッチンと洗面所は憧れのタイルトップに、建具はオリジナルのデザインにこだわりました。あれもしたいこれもしたいと思っていましたが、夢が膨らめば膨らむほど予算も膨らみ、「どうしても譲れない」という部分を決めてこだわりを貫いたと言います。

内装は白と茶色で統一し、シンプルで落ち着きのある空間に。住み始めてからも色を増やさないようにしてきました。バランスよくディスプレイした小物の色や形が際立ち、奥さまのセンスが光ります。

以前は借家だったため、壁の色を変えることはもちろん、釘を打つこともできませんでしたが、今は何でもOK。「したいようにできる自分の家って、うれしいですね」と、さらに自分らしくアレンジする楽しさを味わっています。

キズも味わいのうち

「自分がどれだけのものを持ちたいか。家づくりにはとても大切なこと」と、奥さま。それによって収納するスペースや場所が変わってくると言います。なるべく持ち物を少なく、シンプルに暮らすKさまですが、「キッチン、洗面所、トイレなど、水回りには収納を多くとるべき」とアドバイス。見せたくないものがいろいろあり、きちんとしまえる場所を作っておけばよかったと振り返ります。

住み心地については、無垢材の床は雨の日もベタベタせず、さらさらの肌触り。「冬場も床が冷たいということがなく快適に過ごせます」と、ご満足の様子。新築から3年が経ち、小さなキズもちらりほら見えてきました。「キズは全然気になりません。これも味になりますから」と奥さま。家とともに歳を重ねていくことに、喜びを感じています。

